5 にぎわいと活力あふれるまち［産業活力都市］（3）地域産業の創造性を高める（商業・サービス業、工業・地場産業、貿易・流通、雇用環境）

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 15年度	16年度	17年度	18年度	一次評価 主な活動指標 指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	主な成果指標 指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	評価結果	二次評価 評価結果	評価理由
1	中小企業資金融資事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和35年度 【概　要】本市中小企業者の経営基盤の安定・強化に資するため、本市融資制度を利用する中小企業者に対し信用保証料を補助するとともに、信用保証協会、商工中金に対し損失を補償する。 【対象者】市内の中小企業者 【具体的な活動内容】 ・中小企業者が支払う信用保証料について、資金ごとに定めた補助割合に応じて補助金を交付することで、借入に伴う経費負担の軽減を図る。また、信用保証協会、商工中金に対し、損失の一部を補償することにより円滑な融資制度の運営を図る。	市単	[概算コスト] 181,074 （内訳） ・決算額 176,483 ・人件費 4,591 （1.07人）	[概算コスト] 191,617 （内訳） ・決算額 187,053 ・人件費 4,564 （1.07人）	[概算コスト] 217,827 （内訳） ・決算額 212,224 ・人件費 5,603 （1.32人）	[概算コスト] 224,058 （内訳） ・予算額 218,455 ・人件費 5,603 （1.32人）	信用保証料の補助金額 （単位：千円）	[目標値] 147,742 [実績値] 170,291 〈達成率〉 115.3%	[目標値] 188,654 [実績値] 180,309 〈達成率〉 95.6%	[目標値] 210,669 [実績値] 193,363 〈達成率〉 91.8%	[目標値] 216,000	融資額 （単位：千円）	[目標値] 7,000,000 [実績値] 8,763,610 〈達成率〉 125.2%	[目標値] 9,140,000 [実績値] 9,400,180 〈達成率〉 102.8%	[目標値] 10,590,000 [実績値] 9,616,730 〈達成率〉 90.8%	[目標値] 11,490,000	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 中小企業者に対し信用保証料を補助するとともに、信用保証協会等に対し損失を補償することで、中小企業者の経営基盤の安定・強化を図ることができるため、必要な事業である。
2	商店街おかみさんイキイキ事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成6年度 【概　要】商店街のおかみさんを対象に「商店街おかみさんカレッジ」を開催し、商店街女性リーダーの育成、資質向上及び未組織の商店街女性部の組織化の促進と活発な活動の支援をすることにより、商店街の活性化を図る。 【対象者】市内商店街のおかみさん等 【具体的な活動内容】 ・研修回数：4回 ・実施時期：9～11月 ・研修テーマ：マーケティング、顧客管理、POPやDMの実技、接客、接遇、ラッピング等	市単	[概算コスト] 3,129 （内訳） ・決算額 1,413 ・人件費 1,716 （0.40人）	[概算コスト] 3,154 （内訳） ・決算額 1,448 ・人件費 1,706 （0.40人）	[概算コスト] 2,919 （内訳） ・決算額 1,221 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 2,979 （内訳） ・予算額 1,281 ・人件費 1,698 （0.40人）	セミナー、講演会開催回数 （単位：回）	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100%	[目標値] 4	参加者数 （単位：人）	[目標値] 200 [実績値] 149 〈達成率〉 74.5%	[目標値] 200 [実績値] 153 〈達成率〉 76.5%	[目標値] 200 [実績値] 165 〈達成率〉 82.5%	[目標値] 200	△	○	○	○	○	◎	◎	△	○	○	A	Bb	**事業手段の見直し（事務事業の統合・振替）** （理由） 事業開始から10年以上経過していることや、参加者数が目標値に達していないことなどを踏まえ、事業内容が類似する「元気の出る中小企業支援事業」と統合し、より効果的な事業となるよう検討すべきである。
3	元気の出る中小企業支援事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成7年度 【概　要】商店街及び中小企業者等の活性化を図るため、商店街や商工業の事業協同組合、中小企業者で組織するグループが開催する研修会等に講師を派遣する。 【対象者】市内の商店街等 【具体的な活動内容】 ・商店街等が自主的に開催する研修会等への講師派遣 ・対象団体は申請に基づき、予算の範囲内で決定 ・1団体への派遣回数は年5回以内	市単	[概算コスト] 3,447 （内訳） ・決算額 2,803 ・人件費 644 （0.15人）	[概算コスト] 3,151 （内訳） ・決算額 2,511 ・人件費 640 （0.15人）	[概算コスト] 2,112 （内訳） ・決算額 1,475 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 3,989 （内訳） ・予算額 3,352 ・人件費 637 （0.15人）	研修会等への講師派遣回数 （単位：回）	[目標値] 63 [実績値] 55 〈達成率〉 87.3%	[目標値] 58 [実績値] 42 〈達成率〉 72.4%	[目標値] 55 [実績値] 33 〈達成率〉 60.0%	[目標値] 52	研修会等への参加人数 （単位：人）	[目標値] 1,260 [実績値] 768 〈達成率〉 61.0%	[目標値] 1,160 [実績値] 881 〈達成率〉 75.9%	[目標値] 1,100 [実績値] 973 〈達成率〉 88.5%	[目標値] 1,040	△	○	◎	○	◎	◎	○	△	○	◎	A	Bb	**事業手段の見直し（事務事業の統合・振替）** （理由） 講師派遣回数が減少傾向にあることから、事業内容が類似する「商店街おかみさんイキイキ事業」と統合し、より効果的な事業となるよう検討するべきである。
4	中小企業指導団体助成事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和28年度 【概　要】鹿児島市中小企業振興条例等に基づき、中小企業者及び事業協同組合等の総合的な向上改善と育成に努めている指導団体に対し補助金を交付することにより、団体の行う事業の円滑な運営を促進する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・鹿児島市中小企業振興条例等により定める指導団体に対し、補助金を交付し、団体の行う事業の円滑や運用を支援する。	市単	[概算コスト] 27,387 （内訳） ・決算額 26,100 ・人件費 1,287 （0.30人）	[概算コスト] 27,380 （内訳） ・決算額 26,100 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 26,698 （内訳） ・決算額 25,000 ・人件費 1,689 （0.40人）	[概算コスト] 24,898 （内訳） ・予算額 23,200 ・人件費 1,698 （0.40人）	助成団体数 （単位：団体）	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100%	[目標値] 11 [実績値] 11 〈達成率〉 100%	[目標値] 11	加入率（県振連、県工業倶楽部の2団体を除く） （単位：%）	[目標値] 32.00 [実績値] 29.20 〈達成率〉 91.3%	[目標値] 32.00 [実績値] 30.08 〈達成率〉 94.0%	[目標値] 32.00 [実績値] 31.20 〈達成率〉 97.5%	[目標値] 32.00	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 中小企業の指導・育成にあたって専門性を有する団体を支援することで、中小企業の育成を図ることができ、経済の活性化を推進することができるため、必要な事業である。
5	中小企業異業種交流支援事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成2年度 【概　要】異業種の中小企業者が交流しながら研究や勉強に取り組むことを支援し、中小企業の経営力の強化や新分野への事業展開の促進を図るため、異業種交流支援事業実行委員会に対し負担金を支出する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・内容：異業種交流グループによる研究会を立ち上げ、2年間支援する。 ・支援機関：異業種交流支援事業実行委員会（本市と県中小企業団体中央会等で組織）	市単	[概算コスト] 1,629 （内訳） ・決算額 1,200 ・人件費 429 （0.10人）	[概算コスト] 1,627 （内訳） ・決算額 1,200 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 1,624 （内訳） ・決算額 1,200 ・人件費 424 （0.10人）	[概算コスト] 1,624 （内訳） ・予算額 1,200 ・人件費 424 （0.10人）	負担金額 （単位：千円）	[目標値] 1,200 [実績値] 1,200 〈達成率〉 100%	[目標値] 1,200 [実績値] 1,200 〈達成率〉 100%	[目標値] 1,200 [実績値] 1,200 〈達成率〉 100%	[目標値] 1,200	研究会の参加人数 （単位：人）	[目標値] 30 [実績値] 32 〈達成率〉 106.7%	[目標値] 30 [実績値] 22 〈達成率〉 73.3%	[目標値] 30 [実績値] 22 〈達成率〉 73.3%	[目標値] 30	△	○	◎	○	○	○	○	△	○	◎	Bc	Bc	**事業手段の見直し（その他）** （理由） 参加者数が減少傾向であることから、魅力あるテーマの設定や積極的なPR活動など効果的な事業実施の方法を検討するべきである。
6	「かごしまITビジネスフェア」開催事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成14年度 【概　要】ソフトプラザかごしまにおいて、入居企業等が開発した情報化促進等のシステム展示会や中小企業の情報化相談会などを行う（隔年実施）ことにより、入居企業等のビジネスチャンスの拡大や市内中小企業の情報化の促進を図る。 【対象者】ソフトプラザ入居者・市内中小企業 【具体的な活動内容】 ・イベントの内容：製品展示コーナー及び情報化相談コーナーの設置、講演会の開催など ・場所：ソフトプラザかごしま ・開催回数：2年に1回（11月頃）	市単	[概算コスト] （内訳） ・決算額 ・人件費 （人）	[概算コスト] 946 （内訳） ・決算額 519 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] （内訳） ・決算額 ・人件費 （人）	[概算コスト] 1,082 （内訳） ・予算額 658 ・人件費 424 （0.10人）	製品展示コーナーへの出展企業数 （単位：社）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 10 [実績値] 6 〈達成率〉 60.0%	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 13	講演会・ITフェアの来場者数 （単位：人）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 200 [実績値] 178 〈達成率〉 89.0%	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 250	△	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	△	Ba	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善）** （理由） 活動指標、成果指標ともに目標に達していないことから、商談の機会を設けるなど出展者・来場者に魅力あるものとするとともに、将来的には施設入所者の自立した活動となるよう、事業手法の見直しを検討すべきである。
7	中小企業情報化促進事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成13年度 【概　要】ソフトプラザかごしまの情報提供コーナーの運営、情報化セミナーの開催等により、市内中小企業の情報化促進を図る。また、ソフトプラザかごしま入居企業をはじめ、市内の情報関連企業に対しソフト面からの支援策を行うことにより、今後の成長性の高い情報関連産業の育成を図る。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・活動内容：産業図書等の貸出し、セミナーの開催 ・セミナー回数：年8回程度 ・場所：ソフトプラザかごしま	市単	[概算コスト] 2,857 （内訳） ・決算額 1,570 ・人件費 1,287 （0.30人）	[概算コスト] 2,635 （内訳） ・決算額 1,355 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 2,659 （内訳） ・決算額 1,386 ・人件費 1,273 （0.30人）	[概算コスト] 2,781 （内訳） ・予算額 1,508 ・人件費 1,273 （0.30人）	ソフトプラザかごしま情報提供コーナーの利用者数 （単位：人）	[目標値] 4,000 [実績値] 5,934 〈達成率〉 148.4%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,902 〈達成率〉 97.6%	[目標値] 4,000 [実績値] 3,116 〈達成率〉 77.9%	[目標値] 4,000	市内中小企業のコンピュータ機器の導入率 （単位：%）	[目標値] 99.0 [実績値] 98.70 〈達成率〉 99.7%	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 100 [実績値] 99.60 〈達成率〉 99.6%	[目標値]	○	○	◎	○	◎	◎	○	○	○	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善）** （理由） 情報コーナー利用者が減少傾向にあることや、中小企業のコンピューター導入率がほぼ100%に近づいていることから、効果的な事業となるよう手段を見直すべきである。

5 にぎわいと活力あふれるまち［産業活力都市］（3）地域産業の創造性を高める（商業・サービス業、工業・地場産業、貿易・流通、雇用環境）

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円）				一次評価																				二次評価	
									主な活動指標					主な成果指標					達成度		妥当性		効率性			有効性		公平性			
					15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し	評価結果	評価結果	評価理由
8	商店街活性化診断指導事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和35年度 【概　要】市内の商店街に対し、各種調査や現場診断などを実施し、現状分析・問題点の抽出を行い、社会経済情勢の変化に対応した商店街づくりや、商店街の活性化が図られるよう、提言・指導を行う。 【対象者】市内の商店街等 【具体的な活動内容】 ・特別診断員の派遣 ・経営実態調査、来街者調査、居住世帯の買物調査等の実施 ・消費者懇談会、経営者懇談会の開催 ・診断報告書の作成　・報告会の開催	市単	[概算コスト] 3,851 （内訳） ・決算額 1,277 ・人件費 2,574 （0.60人）	[概算コスト] 6,603 （内訳） ・決算額 1,484 ・人件費 5,119 （1.20人）	[概算コスト] 6,920 （内訳） ・決算額 1,826 ・人件費 5,094 （1.20人）	[概算コスト] 6,651 （内訳） ・予算額 1,557 ・人件費 5,094 （1.20人）	商店街活性化診断指導を実施した商店街数 （単位：団体）	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2	診断指導後、活性化策に取り組んだ団体数 （単位：団体）	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2	◎	◎	◎	○	△	△	○	△	◎	－	Bb	Bb	**事業手段の見直し（事務事業の統合・振替）** （理由） 診断から計画策定まで、より効率的に事業を実施するため、「私たちの商店街づくり計画策定促進事業」との統合を図るべきである。
9	私たちの商店街づくり計画策定促進事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成1年度 【概　要】これまでに商店街診断を受診した商店街を対象に、商店街の会員が中心になって「商店街づくり研究会」を組織し、商店街活性化診断での提言やタウンウォッチング等の結果をもとに、コーディネーター等の助言を得ながら商店街づくり計画策定を促進する。 【対象者】市内の商店街等 【具体的な活動内容】 ・商店街づくり研究会へのコーディネーターやデザイナーの派遣 （研究内容：商店街づくり計画策定、シンボルマークの決定等） ・商店街づくり計画書の作成　・報告会の開催	市単	[概算コスト] 9,505 （内訳） ・決算額 2,640 ・人件費 6,865 （1.60人）	[概算コスト] 6,934 （内訳） ・決算額 1,815 ・人件費 5,119 （1.20人）	[概算コスト] 6,445 （内訳） ・決算額 1,351 ・人件費 5,094 （1.20人）	[概算コスト] 7,055 （内訳） ・予算額 1,961 ・人件費 5,094 （1.20人）	商店街づくり計画策定の支援団体数 （単位：団体）	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2	計画策定後の事業実施数（平成15年度以降に計画を策定した団体） （単位：事業）	[目標値] 6 [実績値] 4 <達成率> 66.7%	[目標値] 4 [実績値] 5 <達成率> 125.0%	[目標値] 4 [実績値] 2 <達成率> 50.0%	[目標値] 4	○	○	◎	○	△	△	○	△	◎	－	Bb	Bb	**事業手段の見直し（事務事業の統合・振替）** （理由） 診断から計画策定まで、より効率的に事業を実施するため、「商店街活性化診断事業」との統合を図るべきである。
10	商店街活性化ソフト対策支援事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成13年度 【概　要】個性的で魅力ある商店街づくりを実現するため、商店街が自主的に実施するソフト事業を支援する。 【対象者】市内の商店街等 【具体的な活動内容】 ・助成メニュー ライブリー事業（イベントに対する助成）、先進地視察事業、CI戦略推進事業（グッズ作成に対する助成）、空き店舗活用事業、明るい商店街づくり推進事業（街路灯の電気料に対する助成）、情報化推進事業、人と環境にやさしい商店街づくり事業、一店逸品運動フォローアップ事業、商店街等交流活性化事業	市単	[概算コスト] 21,514 （内訳） ・決算額 17,867 ・人件費 3,647 （0.85人）	[概算コスト] 19,883 （内訳） ・決算額 16,257 ・人件費 3,626 （0.85人）	[概算コスト] 19,751 （内訳） ・決算額 16,143 ・人件費 3,608 （0.85人）	[概算コスト] 22,089 （内訳） ・予算額 18,481 ・人件費 3,608 （0.85人）	ソフト事業の支援団体数 （単位：団体）	[目標値] 88 [実績値] 83 <達成率> 94.3%	[目標値] 85 [実績値] 81 <達成率> 95.3%	[目標値] 94 [実績値] 81 <達成率> 86.2%	[目標値] 87	商店街の個性や魅力の向上	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 商店街が自主的に行うソフト事業を支援することで、商店街活動の維持・継続を図り、活力と新たな魅力の創出に資するため、必要な事業である。
11	中小企業振興条例に基づく助成事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和48年度 【概　要】中小企業者の組織化及び事業の共同化を促進し、経営体質の強化及び活性化を図るため、中小企業者の組織化及び共同施設設置費用に対し補助金を支出する。 【対象者】市内の商店街等 【具体的な活動内容】 ・共同施設設置事業に対する助成：事業協同組合等が構成員の事業共同化のための共同施設又は一般公衆の利便に寄与する共同施設を設置した場合に、1事業1億円を限度に助成する。 ・組織化に対する助成：中小企業者が法人である事業協同組合等を組織した場合に、1法人あたり10万円を限度に助	市単	[概算コスト] 22,855 （内訳） ・決算額 20,495 ・人件費 2,360 （0.55人）	[概算コスト] 129,224 （内訳） ・決算額 127,305 ・人件費 1,919 （0.45人）	[概算コスト] 64,391 （内訳） ・決算額 62,481 ・人件費 1,910 （0.45人）	[概算コスト] 35,343 （内訳） ・予算額 33,433 ・人件費 1,910 （0.45人）	共同施設設置に係る補助金 （単位：千円）	[目標値] 20,205 [実績値] 20,205 <達成率> 100%	[目標値] 132,575 [実績値] 127,129 <達成率> 95.9%	[目標値] 63,047 [実績値] 62,315 <達成率> 98.8%	[目標値] 33,133	新設または改修された共同施設の数 （単位：件）	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100%	[目標値] 4	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 中小企業者の組織化及び事業の共同化を促進することにより、経営体質の強化及び活性化が図られるとともに、施設の充実やまちの美観向上も期待できることから、必要な事業である。
12	商店街一店逸品運動推進事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】商店街が実施する会員個店の自慢の逸品となる新商品やお勧め品、新サービスなどの開発、再発見のための共同研究に対して、専門のアドバイザーを派遣する。 【対象者】市内の商店街等 【具体的な活動内容】 ・一店逸品研究会へのアドバイザーの派遣 ・派遣回数：1団体あたり4回 ・報告書の作成	市単	[概算コスト] 5,305 （内訳） ・決算額 1,014 ・人件費 4,291 （1.00人）	[概算コスト] 5,664 （内訳） ・決算額 1,398 ・人件費 4,266 （1.00人）	[概算コスト] 5,616 （内訳） ・決算額 1,371 ・人件費 4,245 （1.00人）	[概算コスト] 4,983 （内訳） ・予算額 738 ・人件費 4,245 （1.00人）	一店逸品運動の研究会実施回数 （単位：回）	[目標値] 12 [実績値] 12 <達成率> 100%	[目標値] 16 [実績値] 15 <達成率> 93.8%	[目標値] 16 [実績値] 17 <達成率> 106.3%	[目標値] 7	逸品を開発・発掘した組合員数 （単位：店）	[目標値] 32 [実績値] 20 <達成率> 62.5%	[目標値] 37 [実績値] 29 <達成率> 78.4%	[目標値] 25 [実績値] 21 <達成率> 84.0%	[目標値] 22	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 大型店との差別化を図り、個性的で魅力ある商店街づくりを行うため、開発・発見の専門アドバイザーを派遣することは必要である。
13	商店街歩行者通行量調査事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和49年度 【概　要】本市主要商店街における歩行者の流れや特徴を把握し、その分布状況及び動向を比較分析することにより、今後の商店街の振興を図っていくための基礎資料とする。 【対象者】商店街歩行者 【具体的な活動内容】 ・主要商店街における歩行者通行量調査の実施（2年に1回） ・実施時期：10月中旬 ・主要商店街歩行者通行量調査報告書の作成 ・報告書の関係機関等への配付	市単	[概算コスト] （内訳） ・決算額 ・人件費 （人）	[概算コスト] 7,881 （内訳） ・決算額 6,601 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] （内訳） ・決算額 ・人件費 （人）	[概算コスト] 7,546 （内訳） ・予算額 6,273 ・人件費 1,273 （0.30人）	調査地点数 （単位：地点）	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] 137 [実績値] 137 <達成率> 100%	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] 145	活気と個性あふれる商店街づくりの促進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	◎	○	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 地域環境の変化に伴う人の流れや特徴の変化を比較分析し、商店街の振興に資するため、必要な事業である。
14	竹工芸マイスター養成講座事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成元年度 【概　要】竹工芸技術の継承と竹工芸に対する市民の理解を深めるため、竹工芸マイスター養成講座（初級・中級・上級）を開催する。 【対象者】講座生 【具体的な活動内容】 ・事業：初級・中級・上級の3講座の開催 ・費用負担：無料 ・開催時期：毎年6月～12月 ・場所：鹿児島市竹産業振興センター ・開催回数：初級・中級14回、上級12回	市単	[概算コスト] 3,187 （内訳） ・決算額 1,256 ・人件費 1,931 （0.45人）	[概算コスト] 2,940 （内訳） ・決算額 1,234 ・人件費 1,706 （0.40人）	[概算コスト] 2,917 （内訳） ・決算額 1,219 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 2,919 （内訳） ・予算額 1,221 ・人件費 1,698 （0.40人）	講座数 （単位：講座）	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100%	[目標値] 3	講座修了者数（初級・中級・上級合計） （単位：人）	[目標値] 68 [実績値] 57 <達成率> 83.8%	[目標値] 53 [実績値] 46 <達成率> 86.8%	[目標値] 55 [実績値] 50 <達成率> 90.9%	[目標値] 57	○	○	◎	○	○	○	○	△	◎	◎	A	Bc	**事務事業の見直し（その他）** （理由） 講座の開催にあたっては、竹工芸振興組合と連携をとり実施するなど、効果的に行うべきである。

5 にぎわいと活力あふれるまち［産業活力都市］（3）地域産業の創造性を高める（商業・サービス業、工業・地場産業、貿易・流通、雇用環境）

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円）				一次評価																				二次評価	
									主な活動指標					主な成果指標					達成度		妥当性		効率性			有効性		公平性			
					15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し	評価結果	評価結果	評価理由
15	製造業アドバイザー派遣事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和62年度 【概　要】中小企業（製造業）の品質の高い製品の生産技術力、生産管理能力及び経営能力等の向上を図るため、製造業者や製造業グループからの指導依頼に応じて、技術、デザイン、販路、経営等の専門家（アドバイザー）を派遣し、専門的立場から指導する。 【対象者】商工農林水産業 【具体的な活動内容】 ・指導方法：アドバイザーが企業を訪問して指導 ・派遣回数：1企業につき年に3回まで（随時受付） ・費用負担：無料 ・指導内容：経営、技術高度化、新商品開発、販路開拓等	市単	[概算コスト] 2,801 （内訳） ・決算額 1,299 ・人件費 1,502 （0.35人）	[概算コスト] 3,271 （内訳） ・決算額 1,778 ・人件費 1,493 （0.35人）	[概算コスト] 2,777 （内訳） ・決算額 1,291 ・人件費 1,486 （0.35人）	[概算コスト] 3,095 （内訳） ・予算額 1,609 ・人件費 1,486 （0.35人）	アドバイザー派遣企業数 （単位：社）	[目標値] 15 [実績値] 18 <達成率> 120.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100%	[目標値] 25 [実績値] 21 <達成率> 84.0%	[目標値] 25	改善計画書を提出した企業数 （単位：社）	[目標値] 15 [実績値] 18 <達成率> 120.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100%	[目標値] 25 [実績値] 21 <達成率> 84.0%	[目標値] 25	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 中小企業が、個性を磨き、他社に無い専門分野を伸ばすことで、積極的に向上していくために、必要な事業である。
16	企業誘致推進事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和61年度 【概　要】本市における雇用の創出と地域経済の活性化を図るため、企業訪問活動や企業立地促進補助金の活用などにより、県外からの企業誘致を推進する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・本市への企業立地を促進するため、以下の諸事業を行う。 企業誘致に関する情報の収集・提供 企業訪問活動・PR活動 県との連携による誘致活動 立地相談など	市単	[概算コスト] 3,509 （内訳） ・決算額 1,793 ・人件費 1,716 （0.40人）	[概算コスト] 2,754 （内訳） ・決算額 1,474 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 7,933 （内訳） ・決算額 6,235 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 9,279 （内訳） ・予算額 7,157 ・人件費 2,122 （0.50人）	訪問企業数 （単位：社）	[目標値] 12 [実績値] 14 <達成率> 116.7%	[目標値] 12 [実績値] 13 <達成率> 108.3%	[目標値] 15 [実績値] 3 <達成率> 20.0%	[目標値] 15	誘致企業数 （単位：社）	[目標値] － [実績値] － <達成率> －%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100%	[目標値]	△	○	◎	○	△	○	○	△	○	－	Bc	Bc	**事業手段の見直し（その他）** （理由） 訪問企業数が減少傾向にあることから、かごしまプロモーション推進室や鹿児島県の関係課などとも連携をとりながら、効果的な企業誘致の方法を検討する必要がある。
17	ニュービジネス創出支援事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成14年度 【概　要】今後の成長産業分野等における未着手で斬新なアイデアを公募し、選定されたものに対して補助金を交付するなど事業化の支援を行うことにより、創業、ベンチャー企業の育成支援を図る。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・対象経費・補助率：事業化に要する費用の1/2 ・限度額：最優秀賞（1件）年間1,000万円、優秀賞（3件以内）年間500万円 ・支援期間：最長2年間	市単	[概算コスト] 13,885 （内訳） ・決算額 12,169 ・人件費 1,716 （0.40人）	[概算コスト] 19,596 （内訳） ・決算額 17,463 ・人件費 2,133 （0.50人）	[概算コスト] 15,142 （内訳） ・決算額 14,718 ・人件費 424 （0.10人）	[概算コスト] 29,968 （内訳） ・予算額 28,270 ・人件費 1,698 （0.40人）	ビジネスアイデアの採択件数 （単位：件）	[目標値] 4 [実績値] 2 <達成率> 50.0%	[目標値] 4 [実績値] 2 <達成率> 50.0%	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] 4	採択されたビジネスアイデアの事業化件数 （単位：件）	[目標値] 2 [実績値] 1 <達成率> 50.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] 4	○	◎	◎	○	◎	○	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 独創性の高いニュービジネスの創出や雇用の創出、新分野への事業展開を図ることで、本市経済の活性化を図ることができるため、必要な事業である。
18	創造的SOHO事業者育成支援事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成14年度 【概　要】SOHO事業者を育成支援するために、定期的に相談会を設定するとともに、SOHO支援セミナー等を開催する。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・セミナー開催時期：年2回（5,11月） ・セミナー内容：講演会、パネルディスカッションなど ・場所：ソーホーかごしま	市単	[概算コスト] 2,402 （内訳） ・決算額 686 ・人件費 1,716 （0.40人）	[概算コスト] 190,816 （内訳） ・決算額 187,404 ・人件費 3,412 （0.80人）	[概算コスト] 2,204 （内訳） ・決算額 506 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 3,014 （内訳） ・予算額 1,316 ・人件費 1,698 （0.40人）	支援イベント等の開催回数 （単位：回）	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2	支援イベント等の参加者数 （単位：人）	[目標値] 180 [実績値] 163 <達成率> 90.6%	[目標値] 180 [実績値] 181 <達成率> 100.6%	[目標値] 200 [実績値] 195 <達成率> 97.5%	[目標値] 200	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	－	Bb	Bb	**事業手段の見直し（事務事業の統合・振替）** （理由） 相談業務については、ソフトプラザかごしま入居者等支援事業での対応を検討するほか、インキュベーションマネージャーとの連携を図ることで、効率的な育成支援を図るべきである。
19	南国鹿児島の物産と観光展開催事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和38年度 【概　要】本市の優れた特産品と観光資源を広く紹介宣伝し、特産品の販路拡大及び観光客誘致を図るため、株式会社大丸神戸店において「南国鹿児島の物産と観光展」を開催する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・概要：物産販売、観光宣伝、市長トップセールス ・時期：平成17年5月18日～5月24日（7日間） ・場所：神戸市（㈱大丸神戸店） ・開催回数：1回	市単	[概算コスト] 6,703 （内訳） ・決算額 3,700 ・人件費 3,003 （0.70人）	[概算コスト] 6,686 （内訳） ・決算額 3,700 ・人件費 2,986 （0.70人）	[概算コスト] 6,692 （内訳） ・決算額 3,721 ・人件費 2,971 （0.70人）	[概算コスト] 7,151 （内訳） ・予算額 4,180 ・人件費 2,971 （0.70人）	出展企業数 （単位：社）	[目標値] 60 [実績値] 61 <達成率> 101.7%	[目標値] 60 [実績値] 58 <達成率> 96.7%	[目標値] 60 [実績値] 63 <達成率> 105.0%	[目標値] 60	売上金額 （単位：千円）	[目標値] 53,000 [実績値] 53,667 <達成率> 101.3%	[目標値] 54,000 [実績値] 55,148 <達成率> 102.1%	[目標値] 56,000 [実績値] 58,493 <達成率> 104.5%	[目標値] 59,000	◎	○	◎	○	○	◎	◎	△	○	◎	A	Bc	**事業手段の見直し（その他）** （理由） 特産品の販路拡大及び観光客誘致をより一層推進するため、関係団体との連携を密にするほか、他都市での開催も検討すべきである。
20	特産品宣伝事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和38年度 【概　要】本市の特産品を県内外の多くの方々に紹介・宣伝し、特産品の販路拡大を図るため、特産品ガイドブックを作成する。 【対象者】観光客・市民 【具体的な活動内容】 ・印刷物のサイズ：B6版（縦21cm×横10cm） ・発行部数：日本語版30,000部、外国語版（4種類）20,000部 ・配布先：県内ホテル・業者、市主催イベント、観光案内所、市施設、県外事務所等 ・配布回数：随時	市単	[概算コスト] 3,845 （内訳） ・決算額 2,343 ・人件費 1,502 （0.35人）	[概算コスト] 6,077 （内訳） ・決算額 3,944 ・人件費 2,133 （0.50人）	[概算コスト] 8,505 （内訳） ・決算額 6,807 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 3,919 （内訳） ・予算額 2,433 ・人件費 1,486 （0.35人）	ガイドブックの作成数 （単位：冊）	[目標値] 30,000 [実績値] 30,000 <達成率> 100%	[目標値] 30,000 [実績値] 30,000 <達成率> 100%	[目標値] 50,000 [実績値] 50,000 <達成率> 100%	[目標値] 30,000	販路の拡大及び市場開拓の促進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	－	A	Bc	**事業手段の見直し（その他）** （理由） コスト縮減のため、広告掲載を行い、収入確保に努めるべきである。
21	伝統的工芸産業の活路開拓支援事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和55年度 【概　要】伝統的工芸品の製造業の団体が活路開拓のために行うイベント等に対して助成し、本市の伝統的工芸産業の販路拡大及び振興を図る。 【対象者】伝統的工芸品の製造業の団体 【具体的な活動内容】 ・団体が活路開拓等のために行うイベント等に要する経費の1/2以内の額の補助金を交付する。補助団体：本場大島紬織物協同組合・竹製品の製造業の団体。 ・県、関係市町、陶業組合とともに「薩摩焼フェスタ実行委員会」を組織し、薩摩焼フェスタを開催する。	市単	[概算コスト] 16,545 （内訳） ・決算額 15,258 ・人件費 1,287 （0.30人）	[概算コスト] 9,162 （内訳） ・決算額 7,882 ・人件費 1,280 （0.30人）	[概算コスト] 10,015 （内訳） ・決算額 8,742 ・人件費 1,273 （0.30人）	[概算コスト] 10,115 （内訳） ・予算額 8,842 ・人件費 1,273 （0.30人）	本場大島紬フェスティバル、本場大島紬園遊会、つむぎコレクション開催回数 （単位：回）	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100%	[目標値] 4	本場大島紬フェスティバル、本場大島紬園遊会、つむぎコレクション来場者数 （単位：人）	[目標値] 2,790 [実績値] 2,800 <達成率> 100.4%	[目標値] 2,800 [実績値] 2,734 <達成率> 97.6%	[目標値] 2,800 [実績値] 2,800 <達成率> 100%	[目標値] 2,800	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 本市の伝統的工芸産業の販路拡大及び振興を図るため、イベント等に対する助成は必要である。

5 にぎわいと活力あふれるまち［産業活力都市］（3）地域産業の創造性を高める（商業・サービス業、工業・地場産業、貿易・流通、雇用環境）

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円）				一次評価																				二次評価	
									主な活動指標					主な成果指標					達成度		妥当性		効率性			有効性		公平性			
					15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し	評価結果	評価結果	評価理由
22	「観光と特産品の情報ステーション」運営事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成16年度 【概　要】観光物産に関する情報を発信し、本市の観光資源や特産品についての理解を深めてもらうため、本市、鹿児島商工会議所及び鹿児島観光コンベンション協会が共同で「観光と特産品の情報ステーション」を運営する。 【対象者】観光客・市民 【具体的な活動内容】 ・観光物産情報の提供 ・特産品の展示（約160点） ・特産品等に関するｲﾍﾞﾝﾄ開催（1周年記念ｲﾍﾞﾝﾄ、特産品まつり） ・パンフレットの作成、配布	市単	[概算コスト] （内訳） ・決算額 ・人件費 （人）	[概算コスト] 6,977 （内訳） ・決算額 5,058 ・人件費 1,919 （0.45人）	[概算コスト] 5,322 （内訳） ・決算額 3,624 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 5,322 （内訳） ・予算額 3,624 ・人件費 1,698 （0.40人）	提供情報数 （単位：件）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 240 [実績値] 242 〈達成率〉 100.8%	[目標値] 300 [実績値] 295 〈達成率〉 98.3%	[目標値] 300	来客者数 （単位：人）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 27,000 [実績値] 29,715 〈達成率〉 110.1%	[目標値] 36,000 [実績値] 34,410 〈達成率〉 95.6%	[目標値] 36,000	○	○	◎	○	◎	◎	◎	△	◎	－	Ba	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善）** （理由） 天文館地区における情報提供の場として必要な施設であるが、インターネット等を活用した運営（特産品の仲介・斡旋・情報提供）についても検討する必要がある。
23	特産品コンクール開催事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　平成2年度 【概　要】県等とともに実行委員会を組織し、県内の製造業者等を対象に、食品及び工芸品を募集する特産品コンクールを開催し、入賞商品については、表彰を行うとともに市内外で展示発表することで、生産者の技術向上や新商品の開発意欲を高める。（16年度までは、工芸品のみを募集する市工芸展を市単独で開催） 【対象者】生産者 【具体的な活動内容】 ・コンクール、表彰式の開催（入賞商品12点） ・展示販売（時期：11月～1月、場所：鹿児島市・東京都、回数：5回）	市単	[概算コスト] 5,029 （内訳） ・決算額 3,313 ・人件費 1,716 （0.40人）	[概算コスト] 5,571 （内訳） ・決算額 3,865 ・人件費 1,706 （0.40人）	[概算コスト] 2,798 （内訳） ・決算額 1,100 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 2,798 （内訳） ・予算額 1,100 ・人件費 1,698 （0.40人）	出品業者数 （単位：社）	[目標値] 50 [実績値] 58 〈達成率〉 116.0%	[目標値] 50 [実績値] 53 〈達成率〉 106.0%	[目標値] 100 [実績値] 140 〈達成率〉 140.0%	[目標値] 140	特産品コンクール出品数 （単位：件）	[目標値] 100 [実績値] 115 〈達成率〉 115.0%	[目標値] 100 [実績値] 110 〈達成率〉 110.0%	[目標値] 200 [実績値] 245 〈達成率〉 122.5%	[目標値] 250	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 生産者の技術向上と新商品開発意欲を高めるとともに、特産品の販路開拓を図るため、コンクールの開催は必要である。
24	日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター助成事業	経済局 企業振興課	○事業開始年度　昭和46年度 【概　要】日本貿易振興機構鹿児島情報センターが行う、貿易・経済情報の収集・提供、貿易相談事業、輸入促進事業、貿易研修等の事業を促進することによって本市の貿易及び経済の振興を図るため、同センターに補助金を交付する。 【対象者】日本貿易振興機構鹿児島情報センター 【具体的な活動内容】 ・同センターが実施する諸事業（相談会・講演会開催など）に要する費用の一部を助成することにより、本市の貿易及び経済振興に寄与する。	市単	[概算コスト] 1,515 （内訳） ・決算額 1,300 ・人件費 215 （0.05人）	[概算コスト] 1,513 （内訳） ・決算額 1,300 ・人件費 213 （0.05人）	[概算コスト] 1,512 （内訳） ・決算額 1,300 ・人件費 212 （0.05人）	[概算コスト] 1,512 （内訳） ・予算額 1,300 ・人件費 212 （0.05人）	補助金額 （単位：千円）	[目標値] 1,300 [実績値] 1,300 〈達成率〉 100%	[目標値] 1,300 [実績値] 1,300 〈達成率〉 100%	[目標値] 1,300 [実績値] 1,300 〈達成率〉 100%	[目標値] 1,300	個別貿易相談の件数 （単位：件）	[目標値] 100 [実績値] 89 〈達成率〉 89.0%	[目標値] 100 [実績値] 92 〈達成率〉 92.0%	[目標値] 140 [実績値] 159 〈達成率〉 113.6%	[目標値] 180	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 貿易振興を目的とした専門的機関を各自治体が共同で支援し、有益な情報や協力等を得ることができる。
25	青果市場施設整備事業	経済局 青果市場	○事業開始年度　昭和57年度 【概　要】施設の維持管理に努めることで市場運営の円滑化を図るため、施設の老朽化に伴う補修工事を行う。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 平成18年度　6件 （主な整備内容） ・優先トイレ新築工事 ・仲卸売場シャッター改修工事 ・動力幹線増設工事 ・卸売場屋根改修工事	市単	[概算コスト] 18,680 （内訳） ・決算額 16,535 ・人件費 2,145 （0.50人）	[概算コスト] 17,846 （内訳） ・決算額 15,713 ・人件費 2,133 （0.50人）	[概算コスト] 17,946 （内訳） ・決算額 15,824 ・人件費 2,122 （0.50人）	[概算コスト] 64,422 （内訳） ・予算額 62,300 ・人件費 2,122 （0.50人）	補修箇所数 （単位：箇所）	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100%	[目標値] 6	施設の維持補修	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の機能維持を図るとともに、生鮮食料品を取り扱う市場として、施設の整備を行うことは必要である。
26	魚類市場施設整備事業	経済局 魚類市場	○事業開始年度　昭和42年度 【概　要】施設の維持管理に努めることで市場運営の円滑化を図るため、施設の老朽化に伴う補修工事を行う。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 18年度　9件 （主な整備内容） ・西門その他改修工事 ・管理棟シャワー室トイレ改修工事 ・駐車場舗装工事 ・優先トイレ新築工事	市単	[概算コスト] 54,939 （内訳） ・決算額 52,794 ・人件費 2,145 （0.50人）	[概算コスト] 58,186 （内訳） ・決算額 56,053 ・人件費 2,133 （0.50人）	[概算コスト] 46,022 （内訳） ・決算額 43,900 ・人件費 2,122 （0.50人）	[概算コスト] 43,522 （内訳） ・予算額 41,400 ・人件費 2,122 （0.50人）	補修箇所数 （単位：箇所）	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100%	[目標値] 3 [実績値] 3 〈達成率〉 100%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100%	[目標値] 9	施設の維持補修	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の機能維持を図るとともに、生鮮食料品を取り扱う市場として、施設の整備を行うことは必要である。
27	青果市場連絡協議会運営補助事業	経済局 青果市場	○事業開始年度　昭和53年度 【概　要】青果市場における関係業界の連絡協調及び秩序保持並びに市場発展に資するため、協議会に対し補助金を交付する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・保健・衛生環境 ・交通規制 ・防犯防火 ・福利厚生 ・優良従業員表彰	市単	[概算コスト] 1,229 （内訳） ・決算額 800 ・人件費 429 （0.10人）	[概算コスト] 1,227 （内訳） ・決算額 800 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 1,224 （内訳） ・決算額 800 ・人件費 424 （0.10人）	[概算コスト] 1,224 （内訳） ・予算額 800 ・人件費 424 （0.10人）	補助金額 （単位：千円）	[目標値] 800 [実績値] 800 〈達成率〉 100%	[目標値] 800 [実績値] 800 〈達成率〉 100%	[目標値] 800 [実績値] 800 〈達成率〉 100%	[目標値] 800	市場機能の円滑な推進	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 開設者と市場内の関係業界が相互に協調し、場内の秩序保持に努める上で必要である。
28	青果市場活性化対策事業	経済局 青果市場	○事業開始年度　平成14年度 【概　要】市場の活性化及び青果物の消費拡大を図るため、活性化検討委員会に対し補助金を交付する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・市場探検隊　8月　青果市場内 ・野菜の日PR街頭キャンペーン　8月　天文館付近 ・食育の推進交流会　1月　都市農業センター ・市場関係者の情報化及び経営研修会　10月　青果市場内	市単	[概算コスト] 665 （内訳） ・決算額 236 ・人件費 429 （0.10人）	[概算コスト] 663 （内訳） ・決算額 236 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 660 （内訳） ・決算額 236 ・人件費 424 （0.10人）	[概算コスト] 660 （内訳） ・予算額 236 ・人件費 424 （0.10人）	補助金額 （単位：千円）	[目標値] 236 [実績値] 236 〈達成率〉 100%	[目標値] 236 [実績値] 236 〈達成率〉 100%	[目標値] 236 [実績値] 236 〈達成率〉 100%	[目標値] 236	イベント等参加者数 （単位：人）	[目標値] 100 [実績値] 120 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 100 [実績値] 120 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 100 [実績値] 123 〈達成率〉 123.0%	[目標値] 100	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 関係業界が共通認識のもと活性化に取り組むことで青果物の安定供給につながることから、必要な事業である。

5 にぎわいと活力あふれるまち［産業活力都市］（3）地域産業の創造性を高める（商業・サービス業、工業・地場産業、貿易・流通、雇用環境）

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円）				一次評価																			二次評価	
									主な活動指標					主な成果指標					達成度		妥当性		効率性			有効性		公平性			
					15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し	評価結果	評価結果	評価理由
29	青果市場業者強化育成事業	経済局 青果市場	○事業開始年度　昭和52年度 【概　要】せり人及び仲卸業者・売買参加者の強化育成を目的に、せり人の資質向上を図るための講習会、仲卸業者・売買参加者の経営改善研修会を開催する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・せり人の資質向上を図るための講習会　1回　青果市場内等 ・仲卸業者、売買参加者の経営改善講習会　1回　青果市場内等	市単	[概算コスト] 714 （内訳） ・決算額 70 ・人件費 644 （0.15人）	[概算コスト] 850 （内訳） ・決算額 210 ・人件費 640 （0.15人）	[概算コスト] 734 （内訳） ・決算額 97 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 727 （内訳） ・予算額 90 ・人件費 637 （0.15人）	講習会等開催回数 （単位：回）	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2	講習会等への参加人数 （単位：人）	[目標値] 295 [実績値] 129 <達成率> 43.7%	[目標値] 295 [実績値] 99 <達成率> 33.6%	[目標値] 290 [実績値] 86 <達成率> 29.7%	[目標値] 280	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善）** （理由） 講習会等への参加者数が減少傾向にあることから、参加者のニーズを把握するなど、より効果的な事業となるよう手段を改善するべきである。
30	魚類市場連絡協議会運営補助事業	経済局 魚類市場	○事業開始年度　昭和49年度 【概　要】魚類市場内の関係業界が相互に連絡協調し，自主的に秩序保持に協力し，市場発展に寄与するために設置された連絡協議会に補助金を交付する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・保健環境衛生 ・交通防犯防火 ・優良組合員・優良従業員表彰 ・会員の研修福利厚生 ・その他業務運営	市単	[概算コスト] 1,444 （内訳） ・決算額 800 ・人件費 644 （0.15人）	[概算コスト] 1,440 （内訳） ・決算額 800 ・人件費 640 （0.15人）	[概算コスト] 1,437 （内訳） ・決算額 800 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 1,437 （内訳） ・予算額 800 ・人件費 637 （0.15人）	補助金額 （単位：千円）	[目標値] 800 [実績値] 800 <達成率> 100%	[目標値] 800 [実績値] 800 <達成率> 100%	[目標値] 800 [実績値] 800 <達成率> 100%	[目標値] 800	市場機能の円滑な推進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 開設者と市場内の関係業界が相互に協調し、場内の秩序保持に努める上で必要である。
31	魚食普及協議会運営補助事業	経済局 魚類市場	○事業開始年度　昭和55年度 【概　要】魚類市場関係者で構成する魚食普及協議会に補助金を交付し、魚食普及宣伝活動を支援する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・捌き方教室　2回　勤労婦人センター ・料理教室　6回　鹿児島クッキングスクール ・高校生料理コンクール　1回　城西プロフェッショナルカレッジ	市単	[概算コスト] 879 （内訳） ・決算額 450 ・人件費 429 （0.10人）	[概算コスト] 877 （内訳） ・決算額 450 ・人件費 427 （0.10人）	[概算コスト] 874 （内訳） ・決算額 450 ・人件費 424 （0.10人）	[概算コスト] 874 （内訳） ・予算額 450 ・人件費 424 （0.10人）	補助金額 （単位：千円）	[目標値] 450 [実績値] 450 <達成率> 100%	[目標値] 450 [実績値] 450 <達成率> 100%	[目標値] 450 [実績値] 450 <達成率> 100%	[目標値] 450	おさかな料理教室・高校生シーフード料理コンクール参加者数 （単位：人）	[目標値] 500 [実績値] 533 <達成率> 106.6%	[目標値] 533 [実績値] 709 <達成率> 133.0%	[目標値] 709 [実績値] 744 <達成率> 104.9%	[目標値] 744	◎	○	◎	○	○	◎	○	○	○	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 魚食普及活動を支援することで、水産物の消費拡大が推進され、市場の活性化に資することが出来るため必要な事業である。
32	魚類市場業者強化育成事業	経済局 魚類市場	○事業開始年度　昭和52年度 【概　要】せり人及び仲卸業者・売買参加者の強化育成を目的に、せり人の資質向上を図るための講習会、仲卸業者・売買参加者の経営改善研修会を開催する。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・せり人の資質向上を図るための講習会　1回　魚類市場内 ・仲卸業者、売買参加者の研修会　1回　魚類市場内	市単	[概算コスト] 741 （内訳） ・決算額 97 ・人件費 644 （0.15人）	[概算コスト] 737 （内訳） ・決算額 97 ・人件費 640 （0.15人）	[概算コスト] 734 （内訳） ・決算額 97 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 734 （内訳） ・予算額 97 ・人件費 637 （0.15人）	講習会等開催回数 （単位：回）	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100%	[目標値] 2	講習会等への参加人数 （単位：人）	[目標値] 210 [実績値] 61 <達成率> 29.0%	[目標値] 210 [実績値] 100 <達成率> 47.6%	[目標値] 210 [実績値] 70 <達成率> 33.3%	[目標値] 210	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善）** （理由） 講習会等への参加者数が減少傾向にあることから、参加者のニーズを把握するなど、より効果的な事業となるよう手段を改善するべきである。
33	獣畜と殺解体事業者に対する貸付金事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　平成15年度 【概　要】食肉センターの経営を本市から引き継いだ民間事業者が健全な事業運営を行えるよう運営資金の貸付を行う。 【対象者】獣畜と殺解体事業者 【具体的な活動内容】 ・運営資金として3千万円を貸し付ける。	市単	[概算コスト] 30,172 （内訳） ・決算額 30,000 ・人件費 172 （0.04人）	[概算コスト] 30,171 （内訳） ・決算額 30,000 ・人件費 171 （0.04人）	[概算コスト] 30,255 （内訳） ・決算額 30,000 ・人件費 255 （0.06人）	[概算コスト] 30,170 （内訳） ・予算額 30,000 ・人件費 170 （0.04人）	貸付額 （単位：千円）	[目標値] 30,000 [実績値] 30,000 <達成率> 100%	[目標値] 30,000 [実績値] 30,000 <達成率> 100%	[目標値] 30,000 [実績値] 30,000 <達成率> 100%	[目標値] 30,000	民間事業者の健全な事業運営	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	◎	◎	△	◎	△	◎	－	△	○	－	Bc	Bc	**事業手段の見直し（その他）** （理由） 食肉センター運営業者の経営状況が安定していることから、貸付金の所期の目的を達成したと考えられるため、見直しを検討すべきである。
34	食肉センター施設設備整備事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　平成8年度 【概　要】基幹的食肉処理施設として、良質かつ安全・安心な食肉を安定的、効率的に供給できるよう施設設備の維持更新と衛生基準に適合した施設設備の整備を行う。 【対象者】獣畜と殺解体事業者及び部分肉処理加工事業者 【具体的な活動内容】 ・整備箇所 　小動物内臓処理室用空調機 　小動物小腸切開機 　大動物胃袋洗浄機	市単	[概算コスト] 148,011 （内訳） ・決算額 146,166 ・人件費 1,845 （0.43人）	[概算コスト] 32,968 （内訳） ・決算額 30,622 ・人件費 2,346 （0.55人）	[概算コスト] 49,282 （内訳） ・決算額 46,820 ・人件費 2,462 （0.58人）	[概算コスト] 13,668 （内訳） ・予算額 11,800 ・人件費 1,868 （0.44人）	整備件数 （単位：件）	[目標値] 10 [実績値] 12 <達成率> 120.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 4 [実績値] 6 <達成率> 150.0%	[目標値] 3	施設設備の維持更新	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 施設の機能維持を図るとともに、良質で安心・安全な食肉を安定的、効率的に供給する施設として、設備の整備を行うことは必要である。
35	臭気、騒音防止への取り組み	経済局 商工総務課	○事業開始年度　平成9年度 【概　要】臭気対策に係る診断指導業務を年１回、（社）におい・かおり環境協会に委託して行うなど、食肉センターの周辺環境の保全を図る。 【対象者】鹿児島食肉センター 【具体的な活動内容】 ・臭気診断　1回 ・臭気測定　6回 （臭気測定は、センターの運営をしている民間事業者が行う）	市単	[概算コスト] 468 （内訳） ・決算額 296 ・人件費 172 （0.04人）	[概算コスト] 467 （内訳） ・決算額 296 ・人件費 171 （0.04人）	[概算コスト] 551 （内訳） ・決算額 296 ・人件費 255 （0.06人）	[概算コスト] 466 （内訳） ・予算額 296 ・人件費 170 （0.04人）	臭気診断 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1	周辺環境の保全	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 良質で安心・安全な食肉を安定的、効率的に供給する施設として、周辺環境の保全を図ることは必要である。

5 にぎわいと活力あふれるまち［産業活力都市］（3）地域産業の創造性を高める（商業・サービス業、工業・地場産業、貿易・流通、雇用環境）

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 15年度	16年度	17年度	18年度	一次評価 主な活動指標 指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	主な成果指標 指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	評価結果	二次評価 評価結果	評価理由
36	労働関係相談及び雇用促進事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和47年度 【概　要】雇用に関する諸々の相談を気軽に受けられる場を提供するとともに、雇用労働問題に関し関係団体等との情報交換を通じて相互理解と連携を深める。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・雇用相談 相談員　1名 相談時間等　9:00～15:45(月曜日から金曜日まで) ・雇用労働会議 開催回数　2回	市単	[概算コスト] 2,616 （内訳） ・決算額 2,187 ・人件費 429 （0.10人）	[概算コスト] 2,500 （内訳） ・決算額 2,116 ・人件費 384 （0.09人）	[概算コスト] 2,448 （内訳） ・決算額 2,108 ・人件費 340 （0.08人）	[概算コスト] 2,632 （内訳） ・予算額 2,335 ・人件費 297 （0.07人）	雇用相談員数 （単位：人）	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100%	[目標値] 1	相談件数 （単位：件）	[目標値] 1,200 [実績値] 1,071 〈達成率〉 89.3%	[目標値] 800 [実績値] 627 〈達成率〉 78.4%	[目標値] 800 [実績値] 396 〈達成率〉 49.5%	[目標値] 800	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善）** （理由） 相談件数が減少傾向にあることから、事業手段について検討すべきである。
37	障害者等雇用促進事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和59年度 【概　要】障害者等の雇用の促進と職業の安定を図るため、障害者雇用優良事業所や障害者優良従業員を表彰する。また、障害者の社会参加促進のため、障害者雇用ガイドを作成し配付する。 【対象者】障害・疾病者、事業所 【具体的な活動内容】 ・障害者雇用優良事業所及び障害者優良従業員表彰式 開催時期　9月 開催回数　1回 ・障害者雇用ガイド 発行部数　10,000部	市単	[概算コスト] 2,485 （内訳） ・決算額 383 ・人件費 2,102 （0.49人）	[概算コスト] 2,313 （内訳） ・決算額 479 ・人件費 1,834 （0.43人）	[概算コスト] 2,004 （内訳） ・決算額 391 ・人件費 1,613 （0.38人）	[概算コスト] 1,943 （内訳） ・予算額 500 ・人件費 1,443 （0.34人）	障害者雇用優良事業所の被表彰事業所数 （単位：事業所）	[目標値] 5 [実績値] 2 〈達成率〉 40.0%	[目標値] 5 [実績値] 3 〈達成率〉 60.0%	[目標値] 5 [実績値] 2 〈達成率〉 40.0%	[目標値] 5	民間企業の障害者雇用率 （単位：%）	[目標値] 1.80 [実績値] 1.72 〈達成率〉 95.6%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.69 〈達成率〉 93.9%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.77 〈達成率〉 98.3%	[目標値] 1.80	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 障害者雇用に関する意識の啓発を図るうえで、必要な事業である。
38	高年齢者就業機会確保等事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和56年度 【概　要】シルバー人材センターの運営に要する事業費の一部を補助し、当センターを育成することにより、高年齢者の労働能力を活用した生きがいの充実等を推進し、雇用機会の確保を図る。 【対象者】(社)鹿児島市シルバー人材センター 【具体的な活動内容】 ・補助の内訳 ・運営費補助　21,130千円 （国がシルバー人材センターに直接補助する額と同額を補助） ・管理運営費・理事長報酬等補助　23,464千円 （市単独補助）	市単	[概算コスト] 23,540 （内訳） ・決算額 22,682 ・人件費 858 （0.20人）	[概算コスト] 23,434 （内訳） ・決算額 22,709 ・人件費 725 （0.17人）	[概算コスト] 45,301 （内訳） ・決算額 44,664 ・人件費 637 （0.15人）	[概算コスト] 45,578 （内訳） ・予算額 45,026 ・人件費 552 （0.13人）	補助金額 （単位：千円）	[目標値] 22,305 [実績値] 22,305 〈達成率〉 100%	[目標値] 22,305 [実績値] 22,305 〈達成率〉 100%	[目標値] 44,274 [実績値] 44,274 〈達成率〉 100%	[目標値] 44,594	就業した会員の延人員 （単位：人）	[目標値] 134,150 [実績値] 135,676 〈達成率〉 101.1%	[目標値] 140,000 [実績値] 142,888 〈達成率〉 102.1%	[目標値] 183,500 [実績値] 178,858 〈達成率〉 97.5%	[目標値] 189,300	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） シルバー人材センターへの補助を通して、高年齢者への臨時的・短期的な就業機会の確保が図られており、必要な事業である。
39	鹿児島市就職困難者等雇用促進助成事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和63年度 【概　要】市内在住の就職困難者等を、継続して雇用する労働者として雇い入れた市内の中小企業の事業主に対して奨励金を交付することにより、雇用機会の増大及び雇用の定着を図る。 【対象者】市内の中小企業事業主 【具体的な活動内容】 ・補助金額 重度障害者等、精神障害者　1人月額6,000円を12か月間 その他の障害者　1人月額3,000円を12か月間 その他（高年齢者、母子家庭の母等） 1人月額3,000円を6か月間	市単	[概算コスト] 3,329 （内訳） ・決算額 2,042 ・人件費 1,287 （0.30人）	[概算コスト] 3,409 （内訳） ・決算額 2,300 ・人件費 1,109 （0.26人）	[概算コスト] 3,099 （内訳） ・決算額 2,123 ・人件費 976 （0.23人）	[概算コスト] 3,879 （内訳） ・予算額 2,988 ・人件費 891 （0.21人）	就職困難者等雇用人数 （単位：人）	[目標値] 240 [実績値] 98 〈達成率〉 40.8%	[目標値] 240 [実績値] 111 〈達成率〉 46.3%	[目標値] 139 [実績値] 103 〈達成率〉 74.1%	[目標値] 144	民間企業の障害者雇用率 （単位：%）	[目標値] 1.80 [実績値] 1.72 〈達成率〉 95.6%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.69 〈達成率〉 93.9%	[目標値] 1.80 [実績値] 1.77 〈達成率〉 98.3%	[目標値] 1.80	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 障害者や高年齢者等の就職困難者の雇用機会の拡大及び定着を図るため、継続して雇用する事業者に対し助成を行う必要がある。
40	若年者就職サポート事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　平成16年度 【概　要】若年者の雇用状況の改善を図るため、事業所訪問による雇用枠拡大の要請、キャリア形成ガイドブックの作成、卒業後就職希望の市内の高校3年生を対象にしたセミナー等を開催する。 【対象者】学生、就職していない若年者 【具体的な活動内容】 ・雇用枠拡大の要請：市内110事業所訪問、経済団体への訪問 ・キャリア形成ガイドブック：10,000部作成、市内の高校等に配付 ・ステップアップセミナー：7月中旬開催、雇用情勢の説明、講話、挨拶の仕方・	市単	[概算コスト] （内訳） ・決算額 ・人件費 （　人）	[概算コスト] 4,314 （内訳） ・決算額 2,096 ・人件費 2,218 （0.52人）	[概算コスト] 4,706 （内訳） ・決算額 2,414 ・人件費 2,292 （0.54人）	[概算コスト] 5,611 （内訳） ・予算額 3,531 ・人件費 2,080 （0.49人）	高校生ステップアップセミナー開催回数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 4 [実績値] 2 〈達成率〉 50.0%	[目標値] 4 [実績値] 3 〈達成率〉 75.0%	[目標値] 4	高卒者の就職決定率 （単位：%）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 100 [実績値] 94.70 〈達成率〉 94.7%	[目標値] 100 [実績値] 94.50 〈達成率〉 94.5%	[目標値] 100	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	－	Ba	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善）** （理由） 就職決定率が横ばいであることから、より成果が向上するよう事業手段を改善するべきである。
41	勤労者労働基本調査事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和54年度 【概　要】市内の勤労者の労働条件等を把握するため、勤労者労働基本調査を行うとともに、パートタイム労働者の就業実態等を把握するため、パートタイム労働者意識調査を行う。 【対象者】事業所、パートタイム労働者 【具体的な活動内容】 ・勤労者実態調査(3年に1回) 調査項目：労働条件、雇用状況、福利厚生制度等 調査時期：7月～8月（パートタイム労働者意識調査も同じ） ・パートタイム労働者意識調査 調査項目：労働時間、処遇、就労意識等	市単	[概算コスト] 1,783 （内訳） ・決算額 1,011 ・人件費 772 （0.18人）	[概算コスト] （内訳） ・決算額 ・人件費 （　人）	[概算コスト] （内訳） ・決算額 ・人件費 （　人）	[概算コスト] 2,503 （内訳） ・予算額 1,739 ・人件費 764 （0.18人）	勤労者労働基本調査対象事業所数 （単位：事業所）	[目標値] 1,000 [実績値] 1,000 〈達成率〉 100%	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1,000	勤労者労働基本調査回答事業所数 （単位：事業所）	[目標値] 560 [実績値] 557 〈達成率〉 99.5%	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 560	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 調査を定期的に実施し、勤労者の就業実態等を把握することにより、本市の労働福祉行政の推進に役立てることができるため、必要な事業である。
42	労政広報紙発行等事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和51年度 【概　要】雇用対策、労働福祉等の施策の理解を深めてもらうために中小企業のひろば等を発行する。また、市内事業所に就職する新規学卒者の定着を図るため、新就職者激励大会を開催する。 【対象者】市内の中小企業事業所等 【具体的な活動内容】 ・労政広報紙 発行部数：中小企業のひろば 40,000部、労政のしおり 3,000部 発行回数：中小企業のひろば 年4回、労政のしおり 年1回 ・新就職者激励大会 開催回数：年1回、開催時期：3月	市単	[概算コスト] 6,158 （内訳） ・決算額 4,871 ・人件費 1,287 （0.30人）	[概算コスト] 6,738 （内訳） ・決算額 5,629 ・人件費 1,109 （0.26人）	[概算コスト] 5,928 （内訳） ・決算額 4,952 ・人件費 976 （0.23人）	[概算コスト] 5,974 （内訳） ・予算額 5,083 ・人件費 891 （0.21人）	中小企業のひろば及び労政のしおりの発行部数 （単位：部）	[目標値] 43,000 [実績値] 43,000 〈達成率〉 100%	[目標値] 43,000 [実績値] 43,000 〈達成率〉 100%	[目標値] 43,000 [実績値] 43,000 〈達成率〉 100%	[目標値] 43,000	雇用対策、労働福祉等の施策に関する情報の周知	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	Bc	**事業手段の見直し（その他）** （理由） コスト縮減のため、広報紙への広告掲載を行い、収入確保に努めるべきである。

5 にぎわいと活力あふれるまち［産業活力都市］（3）地域産業の創造性を高める（商業・サービス業、工業・地場産業、貿易・流通、雇用環境）

No.	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 15年度	16年度	17年度	18年度	一次評価 主な活動指標 指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	主な成果指標 指標名	15年度	16年度	17年度	18年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	評価結果	二次評価 評価結果	評価理由
43	技能功労者表彰事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和46年度 【概　要】技能尊重の気運を広く社会一般に醸成するとともに、技能者の地位及び技能水準の向上を図るため、優れた技能を有し、本市の産業発展に尽力した技能者の功労をたたえ表彰する。 【対象者】勤労者 【具体的な活動内容】 ・開催時期：11月 ・場所：城山観光ホテル ・開催回数：1回	市単	[概算コスト] 5,542 （内訳） ・決算額 3,139 ・人件費 2,403 （0.56人）	[概算コスト] 5,114 （内訳） ・決算額 2,939 ・人件費 2,175 （0.51人）	[概算コスト] 4,729 （内訳） ・決算額 2,819 ・人件費 1,910 （0.45人）	[概算コスト] 4,986 （内訳） ・予算額 3,288 ・人件費 1,698 （0.40人）	技能功労者表彰式の開催回数 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100%	[目標値] 1	技能功労者表彰の被表彰者数 （単位：人）	[目標値] 55 [実績値] 50 <達成率> 90.9%	[目標値] 55 [実績値] 50 <達成率> 90.9%	[目標値] 55 [実績値] 45 <達成率> 81.8%	[目標値] 55	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	－	A	Bc	**事業手段の見直し（その他）** （理由） 技能尊重の気運を醸成するとともに、技能者の地位及び技能水準の向上を図るため、必要な事業であるが、開催場所、日時の検討など、更なるコスト縮減を図るべきである。
44	技能労働者奨励事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和59年度 【概　要】成績優秀で生活態度が模範となる職業訓練生を表彰するとともに、技能五輪全国大会等の参加者に激励金を贈呈することにより、技能者の育成、技術水準の向上等を図る。 【対象者】商工農林水産業者 【具体的な活動内容】 ・訓練生の表彰 実施時期：3月 ・激励金の贈呈 奨励金：1人10,000円 贈呈時期：11月、3月	市単	[概算コスト] 202 （内訳） ・決算額 73 ・人件費 129 （0.03人）	[概算コスト] 172 （内訳） ・決算額 44 ・人件費 128 （0.03人）	[概算コスト] 150 （内訳） ・決算額 65 ・人件費 85 （0.02人）	[概算コスト] 141 （内訳） ・予算額 56 ・人件費 85 （0.02人）	職業訓練生の表彰者数 （単位：人）	[目標値] 13 [実績値] 10 <達成率> 76.9%	[目標値] 13 [実績値] 9 <達成率> 69.2%	[目標値] 12 [実績値] 10 <達成率> 83.3%	[目標値] 12	市内訓練校の訓練科（普通課程、専門課程）のうち、訓練生のいる科 （単位：科）	[目標値] 15 [実績値] 11 <達成率> 73.3%	[目標値] 15 [実績値] 11 <達成率> 73.3%	[目標値] 15 [実績値] 11 <達成率> 73.3%	[目標値] 15	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 技能労働者の技術の向上、若者の技能職離れの防止のため、技能尊重の気運を醸成していくうえで必要な事業である。
45	労働関係団体補助事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和49年度 【概　要】労働関係団体が実施する事業に対し、その費用の一部を補助することにより、職業能力の開発等を促進する。 【対象者】労働関係団体 【具体的な活動内容】 ・市認定認定職業能力開発連絡協議会補助金　900千円 ・鹿児島高等技術専門校　520千円 ・鹿児島地域労働者福祉協議会　200千円 ・鹿児島市就職求人雇用対策協会　180千円	市単	[概算コスト] 1,580 （内訳） ・決算額 1,280 ・人件費 300 （0.07人）	[概算コスト] 2,006 （内訳） ・決算額 1,750 ・人件費 256 （0.06人）	[概算コスト] 2,012 （内訳） ・決算額 1,800 ・人件費 212 （0.05人）	[概算コスト] 1,970 （内訳） ・予算額 1,800 ・人件費 170 （0.04人）	補助を行った労働関係団体数 （単位：団体）	[目標値] 4 [実績値] 3 <達成率> 75.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100%	[目標値] 4	技能体験教室の参加者数（鹿児島市認定職業能力開発協議会事業） （単位：人）	[目標値] 185 [実績値] 171 <達成率> 92.4%	[目標値] 172 [実績値] 171 <達成率> 99.4%	[目標値] 150 [実績値] 160 <達成率> 106.7%	[目標値] 170	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 技能労働者の人材育成や労働環境の整備などを行う労働関係団体の活動を支援するため、必要な事業である。
46	鹿児島市中小企業退職金共済掛金補助事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　昭和52年度 【概　要】市内中小企業退職金共済制度及び特定退職者共済制度への加入促進を図るため、これらの制度に新規に従業員を加入させた事業主に対し補助金を交付する。 【対象者】共済に新規加入後、掛金を12月納付した市内事業所 【具体的な活動内容】 ・補助金交付算定基準：掛金月額×12月×20/100 ・補助限度額：被共済契約者（従業員）1人につき、12,000円	市単	[概算コスト] 4,750 （内訳） ・決算額 3,463 ・人件費 1,287 （0.30人）	[概算コスト] 5,125 （内訳） ・決算額 4,016 ・人件費 1,109 （0.26人）	[概算コスト] 5,613 （内訳） ・決算額 4,637 ・人件費 976 （0.23人）	[概算コスト] 6,776 （内訳） ・予算額 5,885 ・人件費 891 （0.21人）	中小企業退職金共済掛金補助金を交付した事業所数 （単位：事業所）	[目標値] 121 [実績値] 57 <達成率> 47.1%	[目標値] 105 [実績値] 56 <達成率> 53.3%	[目標値] 100 [実績値] 61 <達成率> 61.0%	[目標値] 100	中小企業退職金共済掛金補助金の対象者数 （単位：人）	[目標値] 500 [実績値] 260 <達成率> 52.0%	[目標値] 302 [実績値] 291 <達成率> 96.4%	[目標値] 361 [実績値] 329 <達成率> 91.1%	[目標値] 438	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 独自で退職金制度を持っていない事業所の勤労者にとって退職金を保証する共済制度への加入を促進するものであり、必要な事業である。
47	中小企業勤労者総合福祉推進事業	経済局 商工総務課	○事業開始年度　平成5年度 【概　要】本市の中小企業勤労者に総合的な福利厚生事業を提供する（財）鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターに対し、補助を行うことにより、中小企業勤労者の福祉の向上を図る。 【対象者】（財）鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター 【具体的な活動内容】 ・補助率：管理運営費 1/2 健康の維持増進事業 1/4 ・補助限度額：管理運営費 9,000千円 健康の維持増進事業 2,500千円	国補助	[概算コスト] 28,517 （内訳） ・決算額 27,230 ・人件費 1,287 （0.30人）	[概算コスト] 26,339 （内訳） ・決算額 25,230 ・人件費 1,109 （0.26人）	[概算コスト] 24,406 （内訳） ・決算額 23,430 ・人件費 976 （0.23人）	[概算コスト] 24,321 （内訳） ・予算額 23,430 ・人件費 891 （0.21人）	（財）鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターへの補助金 （単位：千円）	[目標値] 27,230 [実績値] 27,230 <達成率> 100%	[目標値] 25,230 [実績値] 25,230 <達成率> 100%	[目標値] 23,430 [実績値] 23,430 <達成率> 100%	[目標値] 23,430	（財）鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員数 （単位：人）	[目標値] 14,700 [実績値] 13,667 <達成率> 93.0%	[目標値] 16,100 [実績値] 14,275 <達成率> 88.7%	[目標値] 15,900 [実績値] 13,981 <達成率> 87.9%	[目標値] 17,300	○	◎	○	◎	◎	◎	○	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 中小企業勤労者の福祉の向上を図るため、福利厚生事業を提供するセンターへの助成は必要である。